

授業概要

旅行会社の重要なビジネスパートナーであるホテル、旅館との具体的な協業経験から、この授業では、皆さんが家族旅行や修学旅行で利用したことのある旅館やホテルなどの宿泊施設を、お客様の目線はもとより、サービス・おもてなしを提供する側から学び、この業界の現状や今後について考えます。また旅行会社は、旅館・ホテルとアライアンスを結び定期的な会合、意見交換を行い、旅行商品を造成し、ウィンウィンの関係にあることなども学びます。さらに宿泊業が取り組んでいる経営改善や今後の方向性について講義します。

授業計画

第 1 回	授業オリエンテーション（授業の進め方と学び方）
第 2 回	旅館の歴史と特徴（奈良時代から始まる宿泊産業、女将さんと仲居さん）
第 3 回	旅館と日本文化（おもてなしの心・和食）
第 4 回	旅館の現状について
第 5 回	温泉と温泉旅館（温泉街の現状と地域活性化）
第 6 回	旅館と経営（旅館の経営状況と問題点・再生）
第 7 回	旅館の経営改善（事例研究）
第 8 回	旅館とホテルの違い
第 9 回	ホテルの歴史（江戸時代末期・開国時から近年）
第 10 回	欧米の宿泊業と日本のホテル文化
第 11 回	ホテル経営と実務（宿泊部門、食飲部門、宴会部門・ブライダル）
第 12 回	日本のホテルのマーケティング
第 13 回	旅館業の今後（事例研究）
第 14 回	インバウンドの動向と対応
第 15 回	振り返り（宿泊業に求められるもの）
第 16 回	筆記試験

到達目標

- ・宿泊産業について興味を持ち、将来の就職先の一つの候補となる。また、ホテルビジネス実務検定試験にも挑戦できる。
- ・授業を通じて、たとえば日本旅館の持つすばらしさや様々な課題・問題点を把握したうえで、今後の方向性について自分で考え、提案ができる。
- ・旅館、ホテルの実際の経営やマーケティング戦略に具体的に触れることで、これまでとは違った視点で宿泊施設を見て、利用することができる。

履修上の注意

宿泊業に関連するニュース、新聞、旅行情報誌や Web サイトに意識して接して、授業に対する興味を持ちましょう。授業の順番は変わることがあります。映像などを使用して、より臨場感のある現場を見ていくので、当事者の立場に立って自分視点でも考えてみよう。

予習・復習

予習・復習は授業内で適宜指示します。

評価方法

定期試験またはレポート（80%）、授業態度など（20%）を総合的に判断し評価します。

テキスト

使用しません。必要に応じて授業資料を配布します。